

2021
冬号
No.86

ほなみ

穂濤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稻門会

発行人 内田 進
穂濤編集委員会

創立30周年に向けて

藤沢稻門会

会長 内田 進



2021年も

コロナに振り回された1年でしたが、会員の皆様におかれましては、平穏無事に年末をお迎えのこととお慶び申しあげます。

藤沢稻門会の活動は、年初の箱根駅伝応援からスタートしますが、

今年は沿道応援を自粛、2月の定期総会および新春の集いも三密回避のため中止としました。総会決議は、皆様のご理解、ご協力のもと、書面決議と言う異例の方法で進めたことご承知の通りです。

幹事全員留任の体制で臨みましたが、結果的には、当会主管の県支部大会はじめ、コロナの影響で全ての行事は見送らざるをえないことになりました。会員の皆様とお顔を合わせる機会も持てない不本意な一年になってしまいましたが、年度方針として掲げたホームページのリニューアル、メーリングリストの拡充、改訂名簿の発行につきましては、事務局を中心になりました。初春の行事である駅伝応援や2月6日(日)

コロナに負けない活動を模索!

開催予定の総会・新春の集いについては、幹事会で準備を進めておりますが実施できるかどうかは、現段、未確定です。確定次第ホームページに掲載致します。

コロナ禍、引き続き難しい判断と運営が続きますが、恒例行事ではじめ、幹事一同、力を合わせ、前向きに努力する所存です。

新しい行事のかたち
委員長 笹井 修一
行事企画運営委員会
事見直しの好機
コロナ禍は行と前回の穂濤に記しましたが、新年度こそ新しい行事のかたち実現の時です。さいわいホームページが刷新され同好会活動を支援しようという機運も高まってきた。それらはわたしの提唱する小規模イベントのベースになります。



委員長 笹井 修一

更なる会員増強を

組織拡大活性化委員会
委員長 庄司 修
全運営のための目標会員数は、



11月末現在で430名と目標を下回つてしましました。

今後、新春の箱根駅伝での応援復活に期待を込めて会員勧誘活動の準備を進めています。さらなる新年度の会員増強に向け会員の皆様方のこれまで以上のご協力をお願いします。

また、ウイズコロナ時代の活動を進めて参ります。2年間活動できなかつたブランクを挽回すべく、

- ①新会員交流会
- ②同好会便りの発行
- ③平成の会の稻門祭出店支援
- ④業界カフェ(Googleグループ上の活動)への話題提供
- ⑤LINEの活用等会員増強を進ます。

マーリングリストや新設の稻門会LINE公式アカウントが活動を後押しします。特にLINEは現役学生も対象とするものです。ジからぜひLINE公式アカウントにご登録ください。イベントを通して「現世を忘れぬ」を具現化しましよう。

「進取の精神」の早稲田の卒業生です。
コロナ禍で、なかなか会う機会が少なくなっていますが、介護に仕事にと日々コロナ禍にめげず頑張っているうちに、2年近くブランクができ、大変残念な思いです。このような状況下、女性委員会の元気印10名の委員達は、介護に仕事にと日々コロナ禍にめげず頑張つてまいりました。



委員長 佐藤 順子
会員の皆様、お目にかかるなります。

楽しい交流再開に向けて

初めて参りますので、皆様方のご指導方宜しくお願ひします。

来年は、藤沢稻門会創立30周年の節目の年になります。初春の行事である駅伝応援や2月6日(日)

現在、藤沢稻門会女性校友登録者は59名です。年明けからは全・安心を前提に、まずは核となる「チチ懇親会」の企画から再スタートできるよう検討中です。先輩・後輩一体となり、大いに語り笑い、心豊かに過ごせる場でありたいと願っています。今後の運営についてのご要望や

稻門会主催だけでなく、各同好会が、各委員会が、またそれぞれの会員が自由な発想でイベントを企画し、ネットで発信してゆくことで校友のネットワークが広がります。



穂 濤

稻門会活動の再開を期待して

広報委員会

委員長 外岡 健



昨日の新型コロナ感染確認者は大幅に減り、皆様も対策を取りながら徐々に通常の生活に戻しつつあると存じます。しかし本年は稻門会活動、ほとんどの同好会活動が行われませんでした。会の活動を会員の皆様にお伝えする立

場とすれば、残念至極であります。夏場に47年ぶりに無観客とはいえオリンピックが開催されました。藤沢にとつても大イベントであり、稻門会でも何かの足跡を残したいと思い特集号を組みました。前回オリンピックの時期は未だ復興期で当時を懐かしく思い出したりしました。

来年は同好会も含め、稻門会活動が再開され紙面を賑わすことが出来るよう期待しております。

場とすれば、残念至極であります。夏場に47年ぶりに無観客とはいえオリンピックが開催されました。藤沢にとつても大イベントであり、稻門会でも何かの足跡を残したいと思い特集号を組みました。前回オリンピックの時期は未だ復興期で当時を懐かしく思い出したりしました。

駅伝応援会場の草刈り

箱根駅伝

えつさかほいほい、えつさかほいほいと慣れない手つき腰つきで草刈りをしています。ここは我らが遊行寺下の駅伝応援会場。

場所を提供してくださる地主さんのために、そこを利用されているテナントさんのために、場所の確保に尽力いただいた会員

の鈴木政徳さんこと旅籠わた屋のご亭主のために、そして何よりもこれを通過する後輩選手と熱い声援を送る校友のために。

たとえコロナで応援自粛になろうとなからうと藤沢稻門会は毎年草刈りを続けています。

行事委員長 笹井修一

天高く馬肥ゆる秋のテニス大会



コロナに負けない元気な皆さん



間隔を空けての表彰式

藤稻テニス会では、毎月第2第4土曜日に善行コートにて例会を開催しています。また、コロナの感染状況を見ながらではあります

が、5月には春合宿を予定しております。新たに同好の士の参加をお待ちしています。

副キャプテン 須田昌克

(平成1・商学)

行事予定

■箱根駅伝応援

日時・1月2日／3日

※東西2会場(例年通り)

※関東学連の通達による

定時総会・新春のつどい

日程・2月6日(日)

会場・ミナパーク



応援が出来ることを祈って！

藤稻テニス会では、春合宿はCOVID-19の影響で残念ながら開催できませんでした。したが、先月緊急事態宣言が解除となり、11月3日、恒例の秋のテニス大会を実施することができました。

大会は、平成卒の50代から今年米寿を迎えた昭和30年卒の大先輩まで総勢18名(男子14名、女子4名)の参加者による、2チームでのダブルス戦を行いました。

長瀬会長による開会宣言、成毛キヤブテンによる大会説明、狛倉事務局長からの藤沢稻門会の活動報告を受け、浅野副会长の指導で準備体操を入念に行い、大会スタート致しました。

春合宿ができなかつた鬱憤を晴らすようなスマッシュやボレー、一

大きな歓声(観戦はマスク着用)や拍手が鳴り響きました。

崎陽軒のテイクアウト弁当での歓談も楽しく、特に人が出ず(筋肉痛やこむら返り程度)、久しぶりのイベントを満喫いたしました。最後は表彰式と田中顧問の締めで打ち上げました。